

夜よる受降城じゆうこうじょうに上のぼつて笛ふえを聞きく（李益りえき）

回樂かいらく峰前ほうぜん沙すな雪ゆきに似にたり

受降じゆうこう城外じょうがい月つき霜しもの如ごとし

知しらず何いれの処ところにか蘆管ろかんを吹ふく

一いち夜や征人せいじん尽ことごとく郷きやうを望のぞむ